

「オリーブについて」

モクセイ科の常緑樹で、世界中で栽培されている。果実は食油（オリーブオイル）や塩水漬けの原料になる。

「国東オリーブの主な品種」

- ネバディロブランコ
- ルッカ
- マンザニロ など

自家受粉しにくいので、異品種を混植する必要がある。



ネバディロブランコの果実

「オリーブと気象条件」

オリーブは温暖で十分な日照時間があり、乾燥した場所を好む。スペインやイタリア等、地中海地方での栽培が盛ん。国内では地中海性気候に近い瀬戸内海沿岸で、主に栽培されている。

気象データ(気象庁：令和元年)

項 目	オリーブに適した条件	国 見
年平均気温	15℃前後	16.9℃
年間日照時間	2,000時間以上	2,013時間
年間降水量	1,000mm程度	1,354mm

瀬戸内海に面した
国東半島は、
国内有数の適地

「国東オリーブ12年の歩み」

- 平成20年 JAおおいた国東オリーブ部会設立。
市内で本格的なオリーブの植え付けが始まる。
- 平成22年 JAおおいたが搾油機を導入。
- 平成23年 国東オリーブ振興協議会設立。
- 平成25年 JAおおいた国東野菜集荷場にオリーブ加工場が完成。
オリーブオイルと塩水漬けの製造開始。
国東オリーブ収穫体験ツアー初開催。
- 平成26年 オリーブジャパン2014で銀賞受賞。
- 平成27年 市のオリーブ苗木補助事業開始。
- 平成28年 市のオリーブ普及員(地域おこし協力隊)が活動開始。
オリーブせっけん販売開始。
キュウセツAQUAがオリーブ栽培に参入。
オリーブジャパン2016で銀賞受賞。
- 平成29年 美容クリーム販売開始。
- 平成30年 オリーブジャパン2018で銀賞受賞。
- 令和元年 県のオリーブ産地確立事業開始。
市のオリーブ専門員が活動開始。
オリーブジャパン2019で銀賞受賞。



特集

国東オリーブ 緑の宝石に夢を託して

太陽の光を浴びて、緑の果実が宝石のようにまばゆく光る。国東の青空のもとで育った、「国東オリーブ」だ。

オリーブは、農家、農協(JA)、県、市が連携する形で、平成20年から市内での栽培が本格的に始まった。当初419kgしかなかった生産量は7,023kg(令和元年度)まで増加。荒廃が進む市内の果樹園への導入品目として、着々と実績を伸ばしている。

オリーブは、地域振興の可能性を秘めた「宝石」だ。国内産地が限定されることから、国産オリーブオイルは希少価値が高い。また、緑が広がり美しい景観を作り出すオリーブ園は観光資源にもなる。そうして、オリーブは期待を込めて一本一本植えられてきた。

6次産業化に取り組みたい
栽培方法を確立したい

若い世代を呼び込みたい
観光農園を作りたい
このまちを元気にしたい

この宝石には、思い思いの夢が託されている。国東オリーブに情熱を傾ける関係者の取り組みを追った。